

## 新たな拠点から 次なる未来へ

### 岐阜 本社

リスのプラスチックグループを構成する  
グループ各社の新たな価値と可能性の  
創造に取り組み基幹拠点



昨年11月にマーケティング拠点として東京本社を設立し岐阜本社との2本社体制を確立しました。  
本年9月には米国インディアナ州に新工場が稼働予定です。  
これまでに培ったモノづくりの技術とサービスを活かして  
グローバルな事業展開へ挑戦していきます。

### 東京本社 新設

2024年11月にマーケティング活動の一層の強化と  
お客様とのコミュニケーション向上のため新たに設立



### アメリカ新工場

2025年9月インディアナ州インディアナポリス近郊に  
竣工予定の米国現地企業向けパレット製造工場



工場完成予定地



代表取締役社長  
大松 栄太

### 岐阜から世界へ、新拠点で拡げる未来

新年あけましておめでとうございます。

さて、昨年11月に弊社は更なる飛躍を目指し、東京に新たな本社を  
設立し、岐阜との2本社体制を構築いたしました。この東京本社を、  
マーケティング活動の一層の強化とお客様との共創の拠点として活用  
してまいります。また、本年は海外で初となる新工場を米国インディア  
ナ州に建設し、9月の稼働開始を目指しております。これまで培った技術  
と経験を礎に、岐阜から世界へ事業領域を拡大し、グローバル市場を

舞台に新たな価値創造に挑戦していきます。

弊社はプラスチックがもつ無限の可能性を実際のカタチ（製品）に  
変えるという精神のもと、日本国内にとどまらず海外の人々にも便利さ  
と快適さを提供していくことで、より豊かな社会と未来に貢献してい  
く所存です。

本年も変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し  
上げます。



岐阜プラスチック工業株式会社

リスパック株式会社

リス興業株式会社 リス株式会社 リスジョイントフロタック株式会社 大岐阜ビル株式会社 東栄管機株式会社 棚川運輸株式会社 大華化成株式会社 RISU AMERICA, INC.

【営業品目】食品包装容器、物流・包装資材、家庭日用品・業務用消耗品、リビングインテリア用品、建築・土木資材、工業部品、医療事務用品、スポーツ用器材 【全国販売生産拠点】支店・営業所:33ヶ所、生産拠点:14ヶ所

中部地域で活躍する各社の戦略

岐阜プラスチック工業

大松栄太社長



プラスチックの持つ無限の可能性を力タチに！を掲げ、1・樹脂を通じてサステナブルリティ社会貢献と実現、2・高機能樹脂を含めた総合プラスチックメーカー、3・プラスチックに付随する付加価値を顧客提供するP.A.A.S.(プラスチック・アス・ア・サービシ)の3つに加え全社的な横断のエコ・コンセプションとグローバル市場への挑戦を織り込み、2028年の創立75周年へ挑戦を加速する岐阜プラスチック工業グループ。28年3月期にグループ連結売上高1500億円を目指し年初から数多くの新規プロジェクトや投資を具体化してきた。

ロボ対応食品容器が高評価

1も拡充する。4月末は兵庫加西市のリスパック関西工場が竣工、「植物由来」のバイオマスプラスチック食品容器専用工場として日本最大規模であり、生産能力、衛生管理において、国内最新鋭の工場となる。5月には米国インディアナ州へ現地法人設立と新工場建設を発表。物流資材向け樹脂パレットの現地生産へ供給へ来年9月の工場竣工へオンスケジュールで投資計画も進む。

包装タイムス 令和7年1月1日 業界キーマンの新春展望 引用



リスパック 代表取締役社長

大松 栄太氏

「シンドレラ・アイ」を立ち上げました。ガラス工芸のような複雑な凹凸のデザインを本体側面に施したバイオマスプラスチックの自動化支援にも注力しております。手作業が特に多い惣菜部門の自動化を目指す産官連携プロジェクトに参画し、ロボフレンドリー(ロボットフレンドリー)事業として機械化適性の高い容器を開発、提供いたしました。これにより、完全自動化された惣菜の製造ラインが実現。今後も、食品容器メーカーとして食品業界の自動化推進に貢献していきたい所存です。

2025年の大阪・関西万博「フューチャーライフ」期間スチックと人が調和する未来の姿を提案し、プラスチックの持続可能性および有用性を示したいと考えています。

ここ数年の包装産業を取り巻く環境は、原材料費や光熱費などさまざまなコストの上昇により厳しい状況が続いておりますが、昨年5月に値上げを表明し、夏には価格転嫁させていたことをごまかしたまま、昨年後半からは新製品群の販売が好調に推移しております。当社の業績も回復基調に転じております。

市場の特徴的な変化として、売りの場が多極化が進んでいますが、コストパフォーマンス重視、機能的な利便性重視、そして高級感や美粧性重視、容器に求められるニースの幅が広がっております。こうした中で当社は昨年、過去最多となる700の新製品を発売しました。今後はお客様の声に耳を傾け、多極化する売り場のご要望にお応えしてまいります。

昨年の新製品の一例としては、高級市場向けの新ブランドプラスチック製透明力ップで、高級サラダやスイーツなど、高付加価値商品に最適です。多くの凹凸を施すことで側面強度が向上しリデュース化も実現しており、美しさと環境配慮を両立させた画期的な製品です。

食品業界の人手不足が進む中、生産現場での自動化推進も開始した関西工場は、バイオ製品に特化した「次世代型パッケージ工場」です。これまでのノウハウを結集し、徹底した

現在、当社の全製品のうち約50%がバイオ製品となっており、今後この比率を高めていく方針です。また、PLAの堆肥化にも取り組んでおり、サッカークリームと協力した資源回収を実施するなど、プラスチック容器メーカーとしての環境への取り組みを積極的に発信しております。これからも人々が安心して使われるプラスチック製品を追求してまいります。

新製品開発力で応える

体制も新たに次なる飛躍へ

―昨年を振り返って。  
エポックメイキングな投資や活動を行った1年になりました。過去最大の投資となった兵庫県のリスパック関西工場が竣工を迎え、5月には米国インディアナ州に新工場を立ち上げる計画を発表しました。10月には2本社体制とし、東京におけるマーケティング活動を強化しました。売り上げの半分を占める主戦場で、お客さまのお役に立てる商品の提案力を高めていきます。  
―関西工場の状況は。  
順調に稼働しており、今年は更に設

 岐阜プラスチック工業グループ



代表取締役社長 大松 栄太氏

備を増設する予定でいます。関西工場は植物由来のバイオマスプラスチック容器の専用工場として、今まで培ったあらゆる技術やノウハウを詰め込んでいます。植物由来の食品容器は5千点を突破し、50%を超える比率となり、さらなる拡大に貢献できる武器になっています。  
―米国の新工場の建設状況は。  
9月の稼働開始に向け、工事が着々

## 大阪万博に出展、世界に発信へ

と進んでいます。自国ファーストを掲げるトランプ氏が大統領になり、米国内工場を持って製造する企業にとっては有利に働くと思います。日本国内の30倍ある米国のパレット市場で当社製品を供給していきます。  
―大阪・関西万博が開幕します。  
2005年の愛知万博では、トウモロコシやサトウキビを原料にしたポリ乳酸（PLA）容器が公式容器に

採用され、商品化の足がかりになりました。そのため今回の大阪・関西万博に対しても思い入れが強く、現在、採用に向けて鋭意取り組んでいる最中です。  
―万博に出展すると聞きました。  
人を主役に未来の暮らしを提案するエリア「フューチャーライフエクスベリエンス」に参加します。期間は10月7～13日の7日間です。人とプラスチックが共生する未来のあるべき姿を描写し、世界各国が参加する場を通じて世界に発信していきます。

2024年9月吉日

お取引先各位

リスのプラスチックグループ

## 東京本社設置(二本社制)に関するお知らせ

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

この度弊社は東京支店を東京都中央区日本橋馬喰町から東京都港区海岸一丁目16番1号のニューピア竹芝サウスタワーに移転いたします。この移転に伴い「東京支店」を「東京本社」と改称し、本社(岐阜県岐阜市)との二本社制とすることといたしましたので、以下の通りお知らせします。

従来、首都圏における営業拠点として設置していた「東京支店」は、さらなる営業強化や顧客対応の迅速化、情報収集機能強化を図るとともに、移転を機に営業本社機能として位置づけ、全国を統括する体制を整えます。また、情報発信の基地として、グループ製品のショールーム設置とテストキッチンを開設し、多様な人材の獲得と、より一層お客様とのコミュニケーションの頻度を高め、ご要望にお応えする製品の創発とサービス向上に努めてまいります。

今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

なお、経理、総務などの管理部門は、従来の本社(岐阜県岐阜市)機能に大幅な変更はございません。

【東京本社設置日】： 2024年11月18日(月)

【新住所】： 〒105-0022 東京都港区海岸一丁目16番1号

ニューピア竹芝サウスタワー 9階・11階

【連絡先】： グループ東京本社 総務部 TEL03-6739-0331 fax03-6661-0365

【アクセス】： ゆりかもめ「竹芝」駅直結 JR「浜松町」駅北口より徒歩7分



## 岐阜プラスチック工業

# 東京支店、本社に格上げ

## 2本社制 関東の営業強化

樹脂製品メーカーの岐阜プラスチック工業(岐阜市神田町、大松栄本社長)は17日、同社グループにとって首都圏の営業拠点となる東京支店を東京都港区海岸のニューピア竹芝サウスタワーに移転し、東京本社に格上げし、2本社制に移行すると発表した。東京本社を営業本社機能として位置づけ、グループ売上高の50%以上を占める関東圏の営業活動を強化する。移行日は11月18日。

(青山和史)

## ショールームも設置

現本社に置く総務、経理などの管理部門に大幅な変更はない。多様な人材確保に役立て、グループ全体の成長につなげる。東京支店は中央区日本橋馬喰町にある。人員数が増え、事務所が手狭となる中で、営業拠点の移転を検討していた。また主力の食品包装容器をはじめ、日用品や産業資材などの提案営業に力を入れ、顧客対応を迅速化するため、交通の利便性にも優れた立地場所へ移



岐阜プラスチックグループの東京本社が入居するニューピア竹芝サウスタワー＝東京都港区海岸(東京レポートセンター提供)



移転先のニューピア竹芝サウスタワー11階に設けるコミュニケーションエリア(岐阜プラスチック工業提供)

し、営業体制も増強する(引用)。  
東京本社とは9階、11階の一部フロアに構える。9階にグループ東京本社の総務部のほか、グループ5社の営業拠点を置き、営業活動に携わる社員を増やす。11階にはグループの歴史や環境に配慮した製品開発への取り組みを発信するショールームを設ける。東京湾が望める場所には従業員同士や取引先との対話の場となるコミュニケーションエリアを設け、新しい発想が生まれる環境を整える。  
2024年3月期グループ連結売上高は1111億円。28年3月期までの中期経営計画に掲げる売上高1500億円達成に向け、関東圏でのさらなる販売シェア拡大を目指す。

引用



2024年5月28日



## 米国現地法人設立と米国工場建設に関するお知らせ

岐阜プラスチック工業株式会社(岐阜県岐阜市 代表取締役社長 大松栄太)は、米国に海外現地法人「RISU AMERICA, INC.」を設立し、その製造拠点としての新工場をインディアナ州に建設することを決定、2025年9月の竣工に向け今年4月に着工いたしました。

投資額は2023年からの6年間で約60百万ドル(※)を見込んでおります。

(※2024年5月24日 09:00時点の為替レート[156.98円/ドル]から算出)

新工場はグループで15カ所目の工場となり、日本国外の工場としては初となります。北米で拡大し続ける物流資材の需要に対応するため、プラスチック製パレットの製造から始め、お客様のご要望にお応えしながら物流用途全般に生産品を拡充していきます。

敷地面積は約117,359㎡(35,500坪)と十分な広さを有しており、将来の生産量増大に合わせて工場を順次拡張・増設する計画にしております。

日本人が有するものづくりの特性、つまり、器用さ、正確性、几帳面さなどをベースにしたすり合わせの技術や匠の技術が世界に冠たる日本品質を生み出しています。これらを米国においてもきっちり根付かせるため社員の過半数を日本から派遣する熟練技術者で構成し、高品質な製品の安定供給を確立します。

主たる材料であるリサイクル材の扱いに関して、当グループは30年以上の豊富な経験によるノウハウを有しております。その技術を活用し、リサイクル材を効果的に用いた製品の製造、販売を行うことで、サステイナブルな取り組みを推進してまいります。

岐阜プラスチック工業グループでは、2028年度売上1,500億円達成に向けた経営5カ年計画「リスグループのミライ」のなかで、「グローバル展開」を柱の一つとして掲げております。このグローバル展開の主な取り組みが、北米における物流資材事業の進出・拡大であります。

2022年からマーケティング活動を進め、2023年5月に現地法人「RISU AMERICA, INC.」を設立いたしました。また、北米のパレット販売に精通した現地企業との協業を進め、販売顧客を多数獲得したことから工場の建設を決定、本年1月にインディアナ州の土地を取得し、4月に着工いたしました。この新工場の稼働により、北米におけるお客様への供給体制を確立し、グローバル展開を加速させてまいります。

# 米で物流資材製造販売

## 岐阜プラスチック 海外初の工場

岐阜プラスチック工業は28日、海外で初となる工場を米インディアナ州に建設すると発表した。米国の現地企業向けに物流用パレットなどの製造販売を始める。日本で培った製品作りやサービスのノウハウを生かして米国に進出し、2028年に現地で60億円の売り上げを目指す。

新工場はインディアナポリス近郊で25年9月に竣工を予定する。投資額は28年までの6年間で約6千万ドル(約95億円)を見込む。同社は23年に現地法人「RISU AMERICA」(リスアメリ

カ)を設立し、現地販売路を探ってきた。日系企業を含め多くの顧客が獲得できたことから工場建設に踏み切る。13人のエンジニアを日本から派遣し、当初は日本の技術者が中心となって生産する。リサイクル材の活用などの環境配慮、納期の安定を武器に現地勢との違いを打ち出す。まずパレット生産から始め、徐々に他の物流資材に広げる計画だ。

同社によると、米国のパレットの市場規模は約2350億円と日本の5倍近い。28日記者会見した大松栄太社長は海外進

出先に米国を選んだ理由について「日本と同様にドライバー不足が起きている。(積載効率を上げる)パレットの市場が伸びており、人口も増えている」ことを挙げた。同社は24年3月期に1111億円だったグループ売上高を中期的に1500億円に伸ばす目標。大松氏は「日本の人口が減少していくなか、成長の機会を海外に求めたい」と話す。



インディアナ工場(完成イメージ)

## グリーン物流優良事業者表彰にて 最高位である国土交通大臣表彰を共同受賞

～異業種連携による持続可能な物流体制の構築とCO2排出量削減～

岐阜プラスチック工業株式会社(代表取締役社長:大松栄太)は、鈴与株式会社(代表取締役社長:鈴木健一郎)、アース製業株式会社(代表取締役社長 CEO:川端克宜)、大塚倉庫株式会社(代表取締役社長:濱長一彦)、加藤産業株式会社(代表取締役社長執行役員:加藤和弥)、株式会社久原本家グループ本社(代表取締役社長:河邊哲司)、株式会社 J-オイルミルズ(代表取締役社長執行役員 CEO:佐藤達也)、太陽化学株式会社(代表取締役社長:山崎長宏)、株式会社 Mizkan Logitec(代表取締役社長:古澤朗)、ライオン株式会社(代表取締役兼社長執行役員:竹森征之)、株式会社ロジパルエクスプレス(代表取締役社長:山本泰治)の10社(五十音順・岐阜プラスチック工業含めて計11社)とともに、12月23日(月)、砂防会館(東京都千代田区)にて開催された「令和6年度 グリーン物流パートナーシップ会議 物流パートナーシップ優良事業者表彰」にて、最高位となる国土交通大臣表彰を共同受賞しました。

物流業界では、乗務員の労働時間規制強化(2024年問題)や環境負荷軽減が喫緊の課題です。本取り組みは、日用品、飲料、食品、素材、玩具などの異業種複数社と物流事業者が連携して、輸送モジュール化と混載輸送に取り組んだケースA、食品配送の効率化に取り組んだケースB(詳細は後述する「■受賞案件 概要」に記載)において、効率的な輸送方法を考案し、輸送車両や労働時間の削減、CO2排出量の大幅な削減を実現いたしました。この取り組みが「持続可能な物流モデル」として高く評価され受賞に至りました。

弊社は、物流資材メーカーとして、輸送モジュール化と混載輸送に取り組んだ「ケースA」に参画し、トラックに2段積みできる最適な治具(スリーブボックス)を提供したことで、車両台数を削減、輸送効率向上の実現に貢献いたしました。

今後も着荷主様、発荷主様、物流事業者様と連携し、物流資材を通して輸送効率向上を実現し、「持続可能な物流」に貢献して参ります。

### ケースA-1

**取り組み前 ●フェリーを活用した混載輸送**

九州 ※段積み制限等で低積載  
大塚倉庫  
久原本家  
関東  
ライオン  
アース製業  
メーカーA \*1  
※大型は長距離送達運行

**取り組み後**

鈴与 輸送の荷主間の調整、低床シャーシを利用した実運送を実施

九州 トレーラ ※治具使用による積載効率向上  
大塚倉庫  
久原本家  
関東  
ライオン  
アース製業  
メーカーA  
※段積み混載によるトレーラ化  
※往復ともにフェリー輸送へ転換

#### ケースA-1の成果

- ★CO2削減 年間31.2t(19.0%削減)
- ★ドライバー拘束時間削減 年間250時間(15.4%削減)
- ★車両台数削減 年間39台(28.9%削減)

### ケースA-2

**取り組み前 ●陸送での混載輸送**

中部 トレーラ ※段積み制限等で低積載  
太陽化学  
関東  
J-オイルミルズ  
ロジパル エクスプレス  
4t(増便時)  
4t(増便時)  
メーカーB \*2  
※各社ごとの引効効率な運行

**取り組み後**

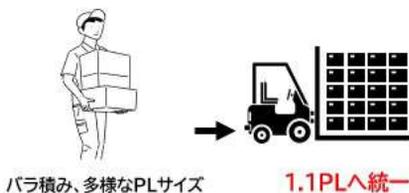
鈴与 輸送の荷主間の調整、低床シャーシを利用した実運送を実施

中部 トレーラ ※治具使用による積載効率向上  
太陽化学  
関東  
ロジパル エクスプレス  
J-オイルミルズ  
メーカーB  
※段積み混載によるトレーラ化

#### ケースA-2の成果

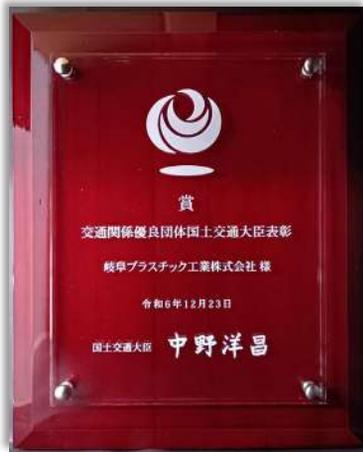
- ★CO2削減 年間46.3t(23.2%削減)
- ★ドライバー拘束時間削減 年間688時間(17.6%削減)
- ★車両台数削減 年間171台(31.7%削減)

1.1mパレット統一によるモジュール化



スリーブボックス(\*3)使用による段積み





引用

中部経済新聞

2024年(令和6年)12月26日 木曜日

11社の代表  
国土交通大臣表彰を受けた



【岐阜】岐阜プラスチック工業(本社岐阜市)は、荷主と物流業者が協力して二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出削減に向けた体制づくりを推進するグリーン物流パートナーシップ会議の物流パートナーシップ優良事業者表彰で、最高位の「国土交通大臣表彰」を受賞した。取り組みに加わった他の10社との共同受賞。

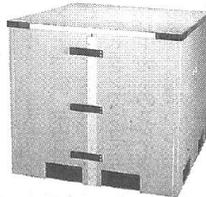
同取り組みは、物流事業者と日用品や飲料、素材関連などの異業種事業者が連携し、輸送の効率化とCO<sub>2</sub>削減を目指している。同社

グリーン物流で国交大臣表彰

岐阜プラスチック工業など

は物流資材メーカーとして輸送モジュール化や混載輸送に参加した。

受賞対象となった案件は、九州・関東間の輸送で、鈴与やアース製薬、大塚倉



荷物を保護しながら段階が可能な「スリーブボックス」

庫など複数の企業がフェリィを活用した混載を実施。パレットサイズや荷物の積み方などを標準化し、2段階積みを実施。車両台数は年間39台、ドライバークの拘束時間を同250時間、CO<sub>2</sub>は同31.2トそれぞれ削減する成果などがあつた。

同社は荷物を保護しながら段階積み可能な「スリーブボックス」を提供。車両台数の削減や輸送効率の向上につながつたとして評価された。表彰式は23日、東京都内で開かれ、大松栄太社長が他の10社とともに表彰を受けた。

～植物由来のバイオマスプラスチック食品容器専用工場～

# 関西工場稼働

次世代型パッケージ工場で変えるミライ



### AI・IoTで省人・省エネ化を実現

AIとIoTを活用し省人化・省エネ化、生産性向上を実現。太陽光と電力制御でクリーンエネルギーを活用。



### バイオマスプラスチックのあらゆる技術とノウハウを集結

- 配合技術
- 成形技術
- 防曇技術
- 端材活用技術



### 安全・安心品質を徹底

温度・湿度・清浄度をゾーンごとに徹底管理し、気圧や四季の変化に影響されない成形品質。



### 自動ラック倉庫完備

アポロ機提供により西日本エリア全域に安定的に供給可能。自動ラック倉庫では、トレイズロボットと配送ラインで人庫を完全自動化。



### 人・モノ・車両を停滞させない独自レイアウト

設備と製造～梱包～輸送工程の独自レイアウトで人・モノ・車両を停滞させない仕組み。



日刊工業新聞  
令和6年 4月24日 引用

## リスパック、工場竣工

バイオプラ食品容器増産

【岐阜】リスパック（写真）を開いた。5（岐阜市、大松栄太社長）は23日、同社初の工場で、全社の生産能力を2割高めた。大松ク製食品包装容器の専社長は「技術とノウハウを工場「関西工場」に盛り込んだ。次世代工場（兵庫県加西市）の竣工として社運をかけた」とあいさつした。敷地面積は約6万9



000平方メートル、建物は平屋で、延べ床面積は約2万9000平方メートル。投資額は180億円。関西、中国、四国地方への基幹物流センターの機能も併せ持ち、1005人が就業する。シートからの一貫生産体制で、材料の全端材を再利用する。特注真空成形機、人工知能（AI）やIoT（モノのインターネット）の活用で製品別に成形条件を最適化。搬送や金型交換の自動化システムで生産性も高めた。同社は日本で使われるバイオプラ原料約9万トン中の7000トンを購入するなど低環境負荷を重視する。新工場ですらに差別化する。

冷凍から耐熱まで網羅  
**バイオ9** 素材の歴史

2005

愛知万博をうけて  
 ポリ乳酸容器  
 製造販売開始



2006

ニュートシリーズ発売



NatureWorks社と  
 ポリ乳酸樹脂の販売および  
 商標使用許諾契約を締結



2012

バイオカップ発売



2011

バイオデリカ発売



2015

パリ協定締結に伴い  
 バイオ素材の売上が  
 大きく伸長

2021

東京オリンピックにて  
 PLAサラダカップ採用  
 (サテライト会場)



2020

バイオHIPS発売



2016

エコア発売



2019

ニュートデリカ発売



2022

バイオデリカ耐熱  
 発売



2023

バイオOPS  
 発売



<p><b>1</b></p> <p>サラダ・フルーツ・冷蔵菜</p> <p>PLA (生物由来プラスチック)</p> <p>95%</p> <p>植物由来素材</p> <p>ニュート</p> <p>50℃</p>	<p><b>2</b></p> <p>米飯・温惣菜</p> <p>PLA+H</p> <p>80%</p> <p>自然由来素材</p> <p>ニュートデリカ</p> <p>110℃</p>	<p><b>3</b></p> <p>サラダ・フルーツ・冷蔵菜</p> <p>PLA+S</p> <p>55%</p> <p>遠隔耐熱環境素材</p> <p>エコア</p> <p>60℃</p>
<p><b>4</b></p> <p>サラダ・フルーツ・冷蔵菜・寿司・刺身</p> <p>バイオPET</p> <p>10%</p> <p>一部植物性素材配合</p> <p>バイオカップ</p> <p>60℃</p>	<p><b>5</b></p> <p>冷凍食品</p> <p>バイオ耐寒PPF</p> <p>一部配合</p> <p>一部植物性素材配合</p> <p>バイオデリカ耐寒</p> <p>30℃ / 130℃</p>	<p><b>6</b></p> <p>米飯・温惣菜</p> <p>バイオPPF</p> <p>10%</p> <p>一部植物性素材配合</p> <p>バイオデリカ</p> <p>130℃</p>
<p><b>7</b></p> <p>寿司・刺身・精肉</p> <p>バイオHIPS</p> <p>一部配合</p> <p>一部植物性素材配合</p> <p>バイオHIPS</p> <p>80℃</p>	<p><b>8</b></p> <p>デザート・日配・精肉・鮮魚・惣菜・米飯</p> <p>バイオPP</p> <p>一部配合</p> <p>一部植物性素材配合</p> <p>バイオPP</p> <p>110℃</p>	<p><b>9</b></p> <p>米飯</p> <p>バイオOPS</p> <p>一部配合</p> <p>一部植物性素材配合</p> <p>バイオOPS</p> <p>80℃</p>

2024年春 | バイオ20周年

グリーン比率 **50%** 目標

採用件数 年間 **2,000** 件UP目標

関西工場 稼働開始

累計採用件数 (2024年3月現在)

**15,000** 件突破!

2024年1月時点

グリーン比率 **50%** 突破!

バイオアイテム数 **4,600** 突破!

**JORA**  
 (一般社団法人 日本有機資源協会)



日本バイオマス製品推進協議会  
 令和4年度  
 第12回 **普及推進功績賞**  
 - 2022年12月 -

長期にわたる多様なバイオマス原材料を使用した  
 食品容器への展開と実績を高く評価頂き受賞しました



※  
世界初!

# 惣菜盛付工程の全ロボット化、現場実装で リスパック惣菜容器が採用

※一般社団法人日本惣菜協会調べ

経済産業省・日本ロボット工業会 主催 / 日本惣菜協会 共催  
**2023年度 ロボフレ事業報告会**



Connected  
Robotics

TERAOKA



リスパック



リスパック  
代表取締役社長 大松

寺岡精工  
執行役員 福原氏

日本惣菜協会  
フェロー 荻野氏

農林水産省  
室長 阿辺氏

マックスバリュ東海  
執行役員 遠藤氏

経済産業省  
室長 石曾根氏

日本惣菜協会  
専務 清水氏

コネクテッドロボティクス  
代表取締役 沢登氏

(2024年3月21日)

2024年3月21日 一般社団法人 日本惣菜協会のプレスリリース内で登場

## ロボットフレンドリー 取り組み容器

世界初!

※一般社団法人  
日本惣菜協会調べ

全ての工程をロボット化

ロボット化対応

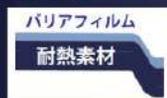
惣菜容器

容器供給 惣菜盛付け トップシーラー ラベル貼り 容器移載 クレート移載

POINT  
トッピフィルムに適した  
フランジ(容器口元)形状



バリア性を付与した  
耐熱素材



POINT

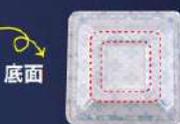


別注品

安定した積み重ねで  
自動供給機対応



コンベア移動でも安定!  
ラベルを貼りやすい  
底面形状



柄付きでもロボット対応!  
ロボット生産でも美味しさ感じる  
見栄えを追求した柄

広口のスローブ形状で  
盛付けをサポート



従来品

ロボット対応  
惣菜容器



発信元：一般社団法人 日本惣菜協会  
東京都千代田区平河町 1-3-13 平河町フロントビル 2F  
TEL:03-6272-8515 FAX:03-6272-8518

News & Information

2024年3月21日発信

経済産業省・日本ロボット工業会 主催 / 日本惣菜協会 共催

2023年度（令和5年度）ロボフレ事業報告会  
～世界初！惣菜盛付工程の全ロボット化、高速社会実装～

一般社団法人日本惣菜協会（東京都千代田区、会長：平井浩一郎）は、2023年度の経済産業省の事業である「革新的ロボット研究開発等基盤構築事業」及び、農林水産省の事業である「生産工程高度化推進委託事業」に採択され、ユーザーである小売り・惣菜製造企業9社と、課題解決のためのトップ技術を持つベンダー・協力企業15社とともに、惣菜盛付工程のロボット化に取り組んできました。この度、製造業で最も従事人員数が多く、機械化が遅れている惣菜製造の中でも、最も人手のかかっている惣菜盛付工程（容器供給、惣菜盛付、弁当盛付、品目検査、シーラー、容器蓋閉め、容器移載、番重移載）において、世界初※で、全工程のロボット化、現場実装に成功しました。

今年度開発したキーとなるロボットシステムは、「惣菜盛付全工程ロボット化統合システム」「CVS（コンビエンスストア）ベンダー向け高精度惣菜盛付ロボットシステム」「触覚ハンド活用多品種対応弁当盛付ロボットシステム」「高速蓋閉ロボットシステム用清流機」「製品移載、番重移載連動ロボットシステム」で、半年間という短期間に開発から現場実装を実現しました。これらは全て世界初※で現場実装したロボットシステムになります。

さらにロボット導入の障壁を下げるためのロボフレ環境の構築に向けて、「不定貫ガス置換トップシール惣菜」、「デジタルツイン、量子コンピューター用データフォーマットの標準化検討」、「ロボフレ標準番重検討」、「システム横展開検討」、「食品工場におけるロボット導入衛生管理ガイドライン策定」等のテーマに取り組みました。

※ 一般社団法人日本惣菜協会調べ

■プロジェクト参画企業（五十音順）

- |               |            |               |
|---------------|------------|---------------|
| SMC㈱          | 新エフエイコム㈱   | ㈱FAMS         |
| ㈱FA プロダクツ     | セイコーエプソン㈱  | ㈱FingerVision |
| エプソン販売㈱       | ㈱寺岡精工      | ブンセン㈱         |
| オムロンセンテック㈱    | ㈱デリモ       | ㈱ホームデリカ       |
| カネカ食品㈱        | トオカツフーズ㈱   | マックスバリュ東海㈱    |
| ㈱グルーヴノーツ      | ㈱ナベル       | ㈱安川電機         |
| コネクテッドロボティクス㈱ | (一社)日本惣菜協会 | リスパック㈱        |
| 三機工業㈱         | ㈱ヒライ       | ㈱ローゼック        |
| ㈱ジャンボリア       |            |               |

総菜、全自動で盛り付け

リスパックなど AI活用、検査も

樹脂製品メーカー岐阜ブラステック工業（岐阜市神田町、大松栄社長）の子会社リスパックなど惣菜製造に関わる24社は、惣菜を盛り付ける全工程のロボット化に成功した。リスパッ



惣菜容器を自動で投入する製造ライン＝静岡県長泉町、マックスバリュ東海長泉工場（リスパック提供）

クはロボット化に適した総菜容器を提案し、自動化した製造ラインがマックスバリュ東海（浜松市）の主力工場に実装された。惣菜製造は機械化が遅れており、人手不足が続く中で盛り付け工程の効率化が課題だった。リスパックはコネクテッドロボティクス（東京）と寺岡精工（同）と共同で取り組み、製造ラインに供給しやすい安定感のある容器を提案し、盛り付け作業だけでなく、人工知能（AI）による仕上がり具合の検査、パックをかぶせて商品ラベルを貼るまでの一連の製造工程を自動化し、同工場にある一つのラインに組み込んだ。リスパックは惣菜盛り付けの効率化を支援するI社として、日本ロボット工業会や日本惣菜協会が取り組む国の事業に昨年9月から参画してきた。

2024年9月6日

ニュースリリース



2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)「フューチャーライフエクスペリエンス」に参加決定しました！

リスパック株式会社(岐阜県岐阜市 代表取締役社長 大松栄太)は、2025年日本国際博覧会『未来社会ショーケース事業・フューチャーライフ万博』『フューチャーライフエクスペリエンス』の期間展示に参加します。



■「フューチャーライフエクスペリエンス」&「TEAM EXPO パビリオン」

「未来の食、未来の文化、未来のヘルスケア、未来への行動などが体験できるエリア」をコンセプトとして、中小企業、スタートアップ企業、教育機関等の多様な主体が参画し、未来に向けた「問い」と「提案」が集まる場所として構成されるエリアです。

「フューチャーライフエクスペリエンス」では、「未来の暮らし」に関わる「問い」と「提案」を集め、来場者への情報提供にとどめず、「体験提供」を通じた未来社会のデザインを提案し、課題解決を目指します。

リスパックは、スーパーやコンビニで販売されている弁当や総菜などのプラスチック製ワンウェイ食品容器のメーカーで、2005年よりバイオプラスチックの活用に取り組んできました。「フューチャーライフエクスペリエンス」では、リスパックが考える「プラスチックのあるべき姿を体験していただく」展示を行います。日常生活のあらゆる場面で活用されているプラスチックが、どのように地球と調和し、私たちの暮らし方がどう変わるのか、ぜひ体験しにいらしてください。

■参加期間：2025年10月7日～13日

■博覧会協会プレスリリース <https://www.expo2025.or.jp/news/news-20240828-01/>

※リスパック株式会社の概要は、弊社 Web サイトをご覧ください。( <https://www.risupack.co.jp/> )

樹脂製品メーカー岐阜県プラスチック工業(岐阜市神田町大松栄太社長)の子会社リスパックは6日、2025年大阪・関西万博の未来の暮らしを提案するエリア「フューチャーライフエクスペリエンス」に参加すると発表した。同エリアは常設展示に加え、1週間単位で展示する期間展示「ステージ参加の3つ」があり、同社は来年10月7～13日の期間展示に参画す

リスパック  
万博に参加

来年10月

食品容器の未来を発信

同社は弁当や総菜などの食品容器を製造・販売している。現代の暮らしを支える食品容器を持続的に使い続ける方法を提案し、プラスチックの有用性や資源循環などをテーマに自社の考えを発信する考え。「プラスチックのあるべき姿を体験していただく展示を行う」としている。

岐阜新聞 令和6年9月7日 引用



2024年11月27日

岐阜県 大阪・関西万博シンポジウム

清流の国から世界へ



リスパック株式会社  
代表取締役社長 大松栄太が出席

『持続可能なプラスチックの使い方』というテーマで、  
人とプラスチックが将来的に調和できる理想の姿を表現しながら、  
プラスチックの持続可能性と有用性を伝えていくことを発表しました

引用

岐阜新聞 2024年(令和6年)11月28日 木曜日

### 万博、子どもたちに夢

はるな愛さん、県庁でPR

来春4月に始まる大阪・関西万博をPRするシンポジウムが27日、県庁1階のミナモホールであり、万博のスペシャルサポーターを務めるはるな愛さんがトークショーで万博の魅力を伝えた。

内閣官房国際博覧会推進本部事務局主催、岐阜新聞社共催「清流の国から世界へ」をテーマに、約300人が参加した。

はるなさんは「2025年日本国際博覧会協会」の広報・プロモーションディレクターの楠本淳さんと共に登壇し、「いろいろな文

化に触られることで、子どもたちの夢が広がるきっかけになる」と期待を込めた。万博のテーマに「いのち輝く未来社会のデザイン」を掲げることから「その未来を見せるのも大人の役割。チャンスを日本全体で盛り上げた」と意気込みを語った。

このほか、小坂喬峰恵那市長と西協兼世調ヶ原町長が自治体での国際交流について伝え、**リスパック**の**早田**の**大松栄太**社長と**大橋**の**橋本淳**社長も万博を契機にした

はるな愛さん(中央)のトークショーを通じて来場者が大阪・関西万博への期待を膨らませたシンポジウム＝県庁ミナモホール

2024年11月1日 発売

**業界初!**

**PortableFit**  
ポータブルフィット



**軽量**

**省施工**

**高性能**

# スポーツ用ポータブル式床材

**弾力層との組み合わせで硬さのカスタマイズが可能!**



**薄い板厚**  
(約25mm)

スポーツシート  
テクセル  
弾力層



**弾力層+テクセル+スポーツシートの3層構造**

**特長 1**

軽量なので  
設置撤去が簡単で  
省施工!



**特長 4**

外周に  
滑り止めテープを  
敷くことで  
ズレを防止!



**特長 2**

プロスポーツにも!  
均一な弾力性・  
最適な踏み心地!



**特長 5**

各種再生材を使用  
環境にも  
配慮した製品!



芯材のテクセルに再生材を 30%以上配合

**特長 3**

サネ構造なので  
誰でも直感的に  
組み立てが可能!



**特長 6**

好みの弾力性に  
カスタマイズ可能!  
(球技用・ダンス用など)



※特注対応

# 大同生命 SV.LEAGUE

「PFUブルーキャッツ石川かほく」で採用されました！



設置時間：約 2 時間 撤去時間：約 1 時間

※ 約 680 m<sup>2</sup> / 作業者 約 15 名

引用

岐 阜 新 聞

2024年(令和6年)11月1日 金曜日

パレーボール大同生命SVリーグ女子に所属するPFUブルーキャッツ石川かほく(石川県かほく市)がすでに採用。大半のチームが樹脂製スポーツシートを採用する中で、PFU側からの相談を受け、設置業者がいない省施工タイプのフロア材を開発した。ホーム会場に設置し、約680

ボータブルフィットは弾力質、テクセル、スポーツシートの3層構造。1枚のサイズは縦横90cm、厚み25mm、重さ6.5kgで、誰でも設置や撤収が可能な仕様とした。

ボータブルフィットは弾力質、テクセル、スポーツシートの3層構造。1枚のサイズは縦横90cm、厚み25mm、重さ6.5kgで、誰でも設置や撤収が可能な仕様とした。

ボータブルフィットは弾力質、テクセル、スポーツシートの3層構造。1枚のサイズは縦横90cm、厚み25mm、重さ6.5kgで、誰でも設置や撤収が可能な仕様とした。

## 移動式のスポーツフロア 岐阜プラスチック工業が開発

「テクセル」使用、省施工型



施工性に優れた移動式スポーツフロア「ボータブルフィット」の施工風景

岐阜プラスチック工業は、平方メートルの広さを約15人で作業すると、設置は約2時間、撤収は約1時間で済むという。岐阜プラスチック工業は「すでに他のチームからの問い合わせも入っている。省施工型の商品開発によって社会に貢献していきたい」としている。

2023年9月19日 発売

ゲーマー・配信者へ

ハニカム防音パネルのメーカーがゲーム用の本格防音ブースを開発



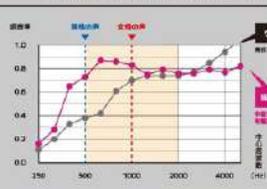
圧倒的な没入感!

# 家に置ける吸音ブース

特長・性能

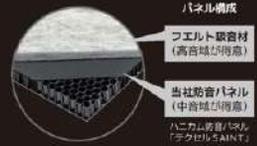
当社独自のハニカムパネルとフェルト吸音材のダブル吸音で強力な防音効果を実現!

人の声のような中音域の吸音が得意



当社ブース形状では最大で**17dB**低減!  
 (17dB下がると音圧は1/7に低減)  
 これは例えば「電車の車内の音」「博物館館内の音」までの低減レベルと同等です

吸音力の秘密



層構成によって中音域以上の吸音率が格段に向上!

※本データは当社実験値であり掲載値ではありません

中日新聞 2024年(令和6年)10月11日(金曜日) ©中日新聞社 2024 (日刊)

東京ゲームショウ 9月26日、千葉市美浜区の幕張メッセで



## 東京ゲームショウ

(鈴木漢平、写真も)

# ゲームに異業種参戦



中日新聞社 名古屋市中区三の丸一丁目6番1号 電話 052(201)8811

2024年(令和6年) 10月11日(金)

引用

## 防音ブース／疲れにくいチェア



岐阜プラスチック工業が出展した防音ブース

ゲーム市場 コロナ禍で日本経済が落ち込む中でも、ゲーム機やソフトの需要は単一のものに留まらず、角川アスキー総合研究所の調べによると、2023年の国内の市場規模は前年比4・6%増の兆しを見せている。それに伴い、ゲーミングチェアなどの売れ行きも好調が続く。

ゲーム市場 コロナ禍で日本経済が落ち込む中でも、ゲーム機やソフトの需要は単一のものに留まらず、角川アスキー総合研究所の調べによると、2023年の国内の市場規模は前年比4・6%増の兆しを見せている。それに伴い、ゲーミングチェアなどの売れ行きも好調が続く。

「すごく静か」。初日の商機を見いだす。28日、あちこちでゲームの音が響く会場で、一辺1・5メートルの「黒い箱」に来場者が次々に入りました。実は、これが自分だけの空間でゲームができる防音ブース。開発したのは、コンテナを改造して作られた防音ブース。金をかけたら、ゲーム機やソフトの需要は単一のものに留まらず、角川アスキー総合研究所の調べによると、2023年の国内の市場規模は前年比4・6%増の兆しを見せている。それに伴い、ゲーミングチェアなどの売れ行きも好調が続く。

「すごく静か」。初日の商機を見いだす。28日、あちこちでゲームの音が響く会場で、一辺1・5メートルの「黒い箱」に来場者が次々に入りました。実は、これが自分だけの空間でゲームができる防音ブース。開発したのは、コンテナを改造して作られた防音ブース。金をかけたら、ゲーム機やソフトの需要は単一のものに留まらず、角川アスキー総合研究所の調べによると、2023年の国内の市場規模は前年比4・6%増の兆しを見せている。それに伴い、ゲーミングチェアなどの売れ行きも好調が続く。

「すごく静か」。初日の商機を見いだす。28日、あちこちでゲームの音が響く会場で、一辺1・5メートルの「黒い箱」に来場者が次々に入りました。実は、これが自分だけの空間でゲームができる防音ブース。開発したのは、コンテナを改造して作られた防音ブース。金をかけたら、ゲーム機やソフトの需要は単一のものに留まらず、角川アスキー総合研究所の調べによると、2023年の国内の市場規模は前年比4・6%増の兆しを見せている。それに伴い、ゲーミングチェアなどの売れ行きも好調が続く。

# 国際大会代表選手選考会

## 3/17日~24日

会場：東京アクアティクスセンター



選考会の舞台となった東京アクアティクスセンター(東京都江東区)

### 世界のトップスイマー 萩野公介氏のコメント

3月17日から開催された、パリオリンピック代表選考会3日目、NHKのゲストとして体操メダリストの内村航平氏と共に出演された萩野公介氏が生放送でコメントし、リス興業の製品が素晴らしいものであることを全国の視聴者に伝えてくれました。

『レーンロープがすごく進化していて、

自分がどのレーンにいても、波の影響というのは、ほとんど無い。』



波が激しくなるバタフライでもすぐに消波

### 最高水準の消波性能が選手の パフォーマンスを最大限に引き出す

日本水連は3月27日、パリ五輪に臨む競泳の日本代表として男子の本多灯(22)・イトマン東京、瀬戸大也(29)・ICHARA R.I.S.&CO.、女子の池江璃花子(23)・横浜ゴム、大橋悠依(28)・イトマン東進、成田実生(17)ら計27人を発表しました。鈴木聡美(ミキハウス)は史上最年長33歳の代表となります。

コーチ陣では、北島康介さん、萩野公介さんからメダリストを育てた平井伯昌コーチ(東洋水産)が昨夏の世界選手権以来となる代表コーチに復帰しました。当社のレーンマーカは平井氏の協力のもと開発を進めてきました。世界に羽ばたく日本の選手たちがコマ一秒でも早くゴールにタッチできるよう、より良い製品をお届けすべく尽力して参ります。

超高密度ナノバブルシステムで

# 農業を変える



超高密度ナノバブルは  
従来にない効果をもたらします。  
作物の質を高め、肥料を節約し  
高収益な農業を後押しいたします。  
超高密度ナノバブルは生物多様性を促し、  
液体の性質を変化させることができます。  
是非お試しください。



## 岐阜プラ、作物生育に進出

### ナノバブルで収量向上

は以前から農業の用水路  
向け樹脂パイプをはじめ  
め、農業分野に対しては  
さまざまな種類のプラスチック  
製品を提供しており  
「農業市場で一定のノウ  
ハウと販路を有してい  
る（岐阜プラスチック工  
業。こうした販売ルート  
も生かしながら農作物の  
生育分野に同システムの提  
案を働きかけている。  
同システムは、1立方  
メートルあたり50〜300ナ  
ノメートルの超高密度ナ  
ノバブルを発生させること

が可能で、従来の気泡を  
発生させるナノバブル装置  
と比較して100倍以上  
（1立方メートルあたり換算）  
の高密度ナノバブルを付与す  
ることができ、農業用  
散布液や、生育のために  
噴霧させる水および液状  
肥料などに、このナノバ  
ブルを利用することで農作物  
や果樹への浸透、吸収が  
飛躍的に高まり、収量増  
病害中の予防、農作物の  
生育ロス低減につながる。  
すでに農場や果樹園  
で採用され始めている。  
こうした実績を訴求し、  
全国に広めていきたい考  
え。

#### 収量UP

作物の免疫力が高まると共に  
成長速度が向上し収量がアップ。  
水ハケが良くなるため  
水を多く与えても悪影響がない。

#### 肥料吸収UP

効率的な  
肥料吸収が出来るようになるため、  
農薬と肥料が大幅に削減

#### ロス率低下

病気や虫の被害に強くなる。  
根張りが良くなる。葉が厚くなる。  
実が多くなる。収量が増えるなど  
様々な相乗効果で  
ロス率低下につながります。

5の  
導入メリット

#### 秀品率UP

活性化された土中の  
好気性菌が植物の育成環境を改善。  
甘みや風味が増し  
農産物に繋がります。

#### 展着効果UP

病害虫予防のために  
農薬を散布しても、作物や害虫に  
付着せず流れ落ちてしまいが  
展着剤を使わずとも  
効果が現れます。

これらのメリットにより

コスト削減・品質向上・病気抑制を実現

#### 事例① 茄子栽培（ハウス栽培）

- ・収量が**30%近くアップ**した
- ・通常よりも育成不良が少なく  
**収穫が安定した**

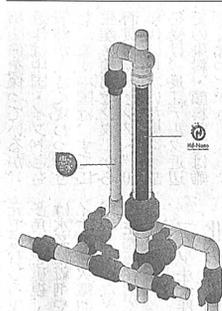


#### 事例② 生姜（露地栽培）

- ・周辺では**圧倒的な収量**になった
- ・非常に水はけがよくなり、根腐れや  
**病気の心配が減った**



岐阜プラスチック工業は、2023年4月に新経営計画「リスクリーフのミニマム」を始動させており、28年3月期にグループ連結売上高1500億円（22年度実績は135億円）の達成を目指している。既存事業の基盤が事業主体となり、農業分野での市場・顧客開拓域への積極展開を進めて



超高密度ナノバブルシステムで水や液肥を散布する

が全国に普及させること  
を目的としている。同システムは、1立方メートルあたり50〜300ナノメートルの超高密度ナノバブルを発生させること  
が可能で、従来の気泡を  
発生させるナノバブル装置  
と比較して100倍以上  
（1立方メートルあたり換算）  
の高密度ナノバブルを付与す  
ることができ、農業用  
散布液や、生育のために  
噴霧させる水および液状  
肥料などに、このナノバ  
ブルを利用することで農作物  
や果樹への浸透、吸収が  
飛躍的に高まり、収量増  
病害中の予防、農作物の  
生育ロス低減につながる。  
すでに農場や果樹園  
で採用され始めている。  
こうした実績を訴求し、  
全国に広めていきたい考  
え。

引用

化学工業日報

2024年(令和6年)5月2日(木曜日)

# LAND CRUISER

# TRUNK CARGO

## キャンプ収納の定番「トランクカーゴ」から ランドクルーザー × トランクカーゴ コラボバージョンのTC-50Sが登場!

### <企画概要>

ランドクルーザーの公式ブランドアイテム『LAND CRUISER COLLECTION』の第一弾コレクションとしてのコラボレーション企画。

キャンプギアをはじめ様々な道具類をまとめて収納できるトランクカーゴを、今回特別にランドクルーザー「250」のメインカラーの1つであるアバンギャルドブロンズメタリックをイメージした別注カラーで製作。さらにランドクルーザーのロゴを正面にプリントしました。

### <トランクカーゴの特徴>

イスやテーブルとしても使える耐荷重100kgの頑丈仕様。効率的に収納できるモジュール機能によりトランクカーゴ同士をキレイに安定した状態で乗せる事ができます。さらにフラットなフタ形状によりテーブルとして使用する事も可能。どのシーンにも馴染むタフでシンプルなデザインが特徴です。



キャンプ収納の定番「トランクカーゴ」からランドクルーザー×トランクカーゴ「コラボバージョン」のTC-50Sが登場しました。「どこへでも行き、生きて帰って帰って来られる。」がコンセプトの、長年に渡って愛されているトヨタ「ランドクルーザー」。そのスタイルは、シンプルでタフなデザイン。トランクカーゴと高い親和性を持っています。

この度、ランドクルーザーの世界観を拡張する公式ブランドアイテム『LAND CRUISER COLLECTION』が誕生しました。

第一弾となる今回のコレクションでは、トランクカーゴとのコラボモデルが登場します。トランク乗りならトランクに1台は入れておきたいマストアイテムです。



ランドクルーザー250の「アバンギャルドブロンズメタリック」の塗装色をイメージ

### <製品概要>

#### LAND CRUISER × TRUNKCARGO 50S

- 販売価格：5,500円
- 容量：50L
- 素材：PP
- サイズ：W600×D390×H357(mm)
- 公式WEBサイト：

<https://toyota.jp/info/landcruisercollection/>

※価格は全て税込価格です



2次元バーコードを読み込むと  
ランクルコレクションページへ

**LAND CRUISER COLLECTION**

LAND CRUISER COLLECTION  
Yahoo!ショッピング オンラインストア

**LAND CRUISER**  
SPRING & SUMMER  
2024 COLLECTION

# ASKUL 様との共同開発から「Matakulくず入れ角8L」 発売

アスクルの使用済みクリアホルダー回収リサイクルスキームから生まれた、環境に配慮した再生プラスチックを50%使用。分別しやすい半透明タイプ2色を発売。



## 使用済みクリアホルダーを原料とした 再生プラスチック50%配合で商品化を実現。

本商品は使用済みクリアホルダーを原料とした再生プラスチックを50%配合し、グリーン購入法にも適合しています。リスグループは1990年代からリサイクル材の活用に取り組んでおり、多種多様なリサイクル材料を活用し、再製品化を進めています。長年の取り組みで培ったノウハウを生かし、アスクルと協議を重ね、商品の色の安定性と従来と変わらない生産効率を実現しました。

## Matakulとは

Matakulはアスクルが進める、回収した資源を再生し次の製品へつなげる「資源循環プラットフォーム」の取り組みから生まれたオリジナルシリーズです。シリーズの名称は、使用済み商品が「また、戻って来る」ことをストレートに表現し、商品のコンセプトは、「使い捨て」が前提ではない「長く使える」(循環可能な)商材を選定し、製品化を進めています。



Hello, I am back!

使用済みクリアホルダーを一部使用しています

# 植物由来のプラスチック(バイオPE)を 配合したダストボックスを発売

バイオPE  
約5%配合



CO2を増やさない植物由来の素材を一部使用しています。※約5%配合

サトウキビから砂糖を取り出した後の残渣液(モラセス)から作り出されたプラスチックです。



石油資源の温存やCO2を増やさないなど環境負荷が少ないゴミ容器です。

WORK&WORK バイオペールは「バイオマスマーク」認定商品です



バイオマス  
使用部位:本体  
No.230188

BIOMASS  
COMPOUNDING

10%

原料の一部にリサイクル可能なバイオマスプラスチック(植物由来プラスチック)を使用しています。  
石油由来プラスチックの代替素材としてカーボンニュートラルに貢献します。



バイオPE  
10%配合

2023年12月  
JORA(日本有機資源協会)  
バイオマスマーク取得済

バイオPEの  
配合により

石油資源の消費抑制

バイオポリエチレンは植物を原料にしています。

CO2排出量の抑制

カーボンニュートラルでCO2を増やしません。

# 2023年度 意匠登録件数 上位20社(国内企業)に リスグループの2社がランクイン!

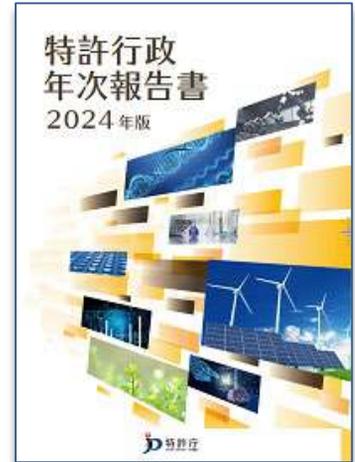
## 2023年度の登録件数

13位 岐阜プラスチック 登録 **126**件

+

19位 リスパック 登録 **115**件

合計 **241**件



出典:特許庁発行  
「特許行政年次報告書2024年版」

## 数字で見る知財動向（意匠登録） 2023年度の推移

### 12. 意匠登録件数上位20社（2023年）の登録件数推移

	出願人	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
1	アップル インコーポレイテッド	125	216	255	171	354
2	株式会社大林組	23	54	73	113	311
3	パナソニックIPマネジメント株式会社	432	305	331	332	272
4	株式会社オカムラ	318	210	197	172	215
5	コクヨ株式会社	114	122	219	249	200
6	レック株式会社	90	119	136	217	191
7	三菱電機株式会社	490	362	228	286	179
8	東芝テック株式会社	25	47	76	100	173
9	株式会社イレブンインターナショナル	1	0	11	76	166
10	株式会社エフピコ	140	143	100	130	145
11	株式会社イトーキ	96	163	91	176	143
12	株式会社LIXIL	147	133	136	93	134
13	未来工業株式会社	74	81	131	153	126
★	13 岐阜プラスチック工業株式会社 ★	30	77	136	133	126
15	セイコーエプソン株式会社	125	79	81	156	124
16	華為技術有限公司	8	20	32	96	123
17	アイリスオーヤマ株式会社	82	88	94	157	120
18	グローブライド株式会社	49	62	75	66	116
★	19 リスパック株式会社 ★	79	97	118	112	115
20	三菱ロジスネクスト株式会社	10	19	3	37	114

合計数では、【3位 パナソニックIPマネジメント様】【4位 (株)オカムラ様】の間の登録件数となっています